

特別支援教育 算数・数学 徹底講座 2021年度

～学び方と分かり方の多様さを理解するために～

京都市内算数サークル

11月13日(土) 1:30～4:30

(定刻開始します)

会場 京都教育文化センター 地階 公益室

(京阪電車神宮丸太町駅下車5番出口徒歩5分 / 電話 075-771-4221)

参加費 1000円 (京都市内算数サークル会員は800円)

定員 15人

- ※1) メールで事前申込みをしてください。万一中止の時は、メールでお知らせします。
- 2) マスクの着用をお願いします。
- 3) 定員に達していない場合は当日参加も可能ですが、万一中止の場合も連絡ができないことをご了承ください。

1:15 受付

1:30

自己紹介・教材選定マップ・各自の問題意識

① 同じの概念形成から1対1対応へ

<モノとモノの同じ>, 連続量および分離量などの<数量の同じ>という概念形成について、考えたいと思います。

② 1対1対応から量対量対応へ

分離量概念の形成をもとにした加減算に話を進めていきます。

3:00

3:20

休憩

③ 授業を創る

特別支援教育の難しさは、多様な児童生徒に合わせた学習課題の選定とその実践方法にあります。参加いただいた先生方の授業創りを、参加者の皆さんで共に考えていきたいと思っています。

多様な障害・学びに合わせた指導法について知恵を絞っていきましょう。

4:30

感想文 & 次回へ向けて



講師 川村和人

<講座について>

最初に教材選定マップを示して、特別支援教育における算数・数学教育の構造的な理解を試みます。どんな場所で、どんな児童生徒に出会うかも知れません。その場の状況と彼らに合わせた教材教具を自ら作っていきける<アタマづくり>を少しでも進めていければと考えています。参加の皆さんが想定される児童生徒さんの「認識のナゾ」について、互いに考え合い、少しでも解いていければ、と思います。

- ①「同じ」ということの意味から考え、子どもたちの認識活動に迫ります。
- ②分離量概念の形成から考え、子どもたちの認識活動に迫ります。
- ③参加者の皆さんで授業検討会を行います。

<自己紹介>

1960年、兵庫県神戸市生まれ、中学生のころより学校不適応。登校拒否。公立高校に入学するも中退。転居に伴って夜間定時制高校に入学。

自動車運転免許取得後は清涼飲料水の営業配達の仕事をする。25歳より通信制大学に入学し、30歳より特別支援学校(肢体不自由児校)教諭に転職。

15年間勤務の後、普通科高校で社会科を5年間教える。高校の特別支援教育も経験。その後、特別支援学校に戻り、高等養護学校にて進路指導を担当。定年退職後は京都府立特別支援学校講師。

教員1年目から民間教育研究サークルに参加。数教協に出会う。算数・数学に特化した障害児教育研究組織の安曇野研究会にも参加。障害児教育における算数・数学研究に夢中になる。今も。

<申し込み・問い合わせ> 本田陽一

〒606-8411 京都市左京区浄土寺東田町37-9

TEL・FAX・留守電 075-761-3590

Eメール honda-kyoto@sky.plala.or.jp